

来月から遺伝子検査

道がんセンター チーム医療整備

がんを防ごう

北海道がんセンター（札）

「北海道がんセンター（札幌）は7月から、がん患者が持つがんの原因となる遺伝子の変化を一度に調べる「網羅的がん遺伝子検査」を始める。それぞれの患者に最適な治療薬を探す最先端の検査で、道内では北大病院（札幌）、北斗病院（帯広）に次ぎ3施設目。

設し、週に2日、検査を受け付ける。患者のがん組織と血液を用いて160の遺伝子を院外の検査機関で解析。約3週間後に結果を患者に報告する。検査費は保

除外診療で総額65万円。

除外診療で総額65万円。全診療科が参加する検討会で、判明した最適な薬を使った治療が同センターで実施可能かどうかを判断し、その結果も患者に伝えられる。検査から治療まで一貫したチーム医療の体制を敷

くのが、最大の特長だ。
治療薬には保険診療可能
な薬や治験中、保険適用外
の薬がある。ただし、検査
で治療薬に関する適切な情
報が尋うれなハーブもある。

保険適用外の薬の場合、高額になる可能性もある。

子の異常が原因かが分かれ
ば、患者が今後の治療を考
える羅針盤になる」と話し
ている。